



成犬と暮らしはじめる方法



ペット救済のための情報サイト #pet_SOS <http://petsos.nekonikoban.org/>

被災したわんちゃんの多くは、大人の犬＝成犬です。
どこの愛護団体さんも預かれるペットの数には制限があり、ほとんどのシェルターは、すでに満員となっていて、一時的にわんちゃんを預かる一時預かり、被災者の方が手放した子の里親になってくれる人が、広く求められています。

わんちゃんをお迎えする場合、ご家族のライフスタイルにあっているかどうか、大きなポイントになります。インドア派かアウトドア派か、毎日の散歩の必要量に合わせられるかどうか。住宅事情にも大きく左右されます。大人のわんちゃんは、すでに性格や体格が安定していますから、一緒に暮らしたときのイメージをしやすいです。

成犬になってからでも、たくさん愛情を注いであげれば、ちゃんと仲良くなれますから、大丈夫ですよ。

保護されたわんちゃんのなかには、飼い主さんとの別れより心に傷を持った子や、病気を抱えている子も多いですが、それを受け止めた上で、家族に迎えて下さい。

特に里親になる事をご検討頂いている方は、一度家族を失ったわんちゃんに、同じ悲しい思いをさせる事が無いように、事前にじっくりと考えて下さいね。

成犬を家族にお迎えする時に注意したいポイントを、ステップバイステップ方式でまとめてみました。
一時預かり、里親さん、ぜひ考えてみて下さいね！

登場人物

飼い主さん



先住わんちゃん
(成犬)



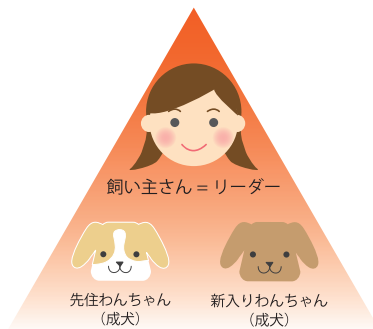
新入りわんちゃん
(成犬)



その1. わんちゃんとの接し方

飼い主さんが、リーダーになる

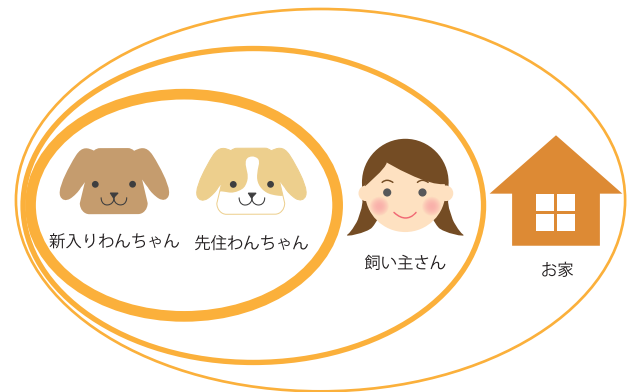
わんちゃんは、群れをなしていた動物ですので、その家族の中での立場を重要視します。
飼い主さんがしっかりとリーダーシップをとって両方のわんちゃんに接しましょう。



しっかりとリーダーがいると、わんちゃんたちは「守ってもらえるんだ」と、安心して暮らすことができます。

わんちゃんの心の慣れステップ

わんちゃんは同じ種族である先住わんちゃんに慣れます。
そして、飼い主さん・・・その後、場所に慣れます。



先住わんちゃんがやっているのを見て学ぶようになりますので、先住わんちゃんと飼い主さんの信頼関係もしっかり結んでおきましょう。

新入りわんちゃんの気持ちを理解する

家族を大切に思うわんちゃんが、大好きな家族やお家を失ったとしたら、とても不安で寂しい思いをしていることでしょう。

そんな不安から、時には新しい飼い主さんを困らせる行動をしてしまうかもしれません。

でも、新しい飼い主さんにとっては「問題行動」に思えても、

わんちゃんにしてみれば、今までの犬生では、当たり前にしてきたことかもしれません。

まずは、わんちゃんの気持ちを理解することから始め、

「しつけ」をしなきゃと意気込まずに、わんちゃんとの信頼関係をしっかりと築いていきましょう。



その2.迎える為の準備：用意するもの（前日まで）

カラー と リード と 迷子札

体の大きさにあったカラーとリード



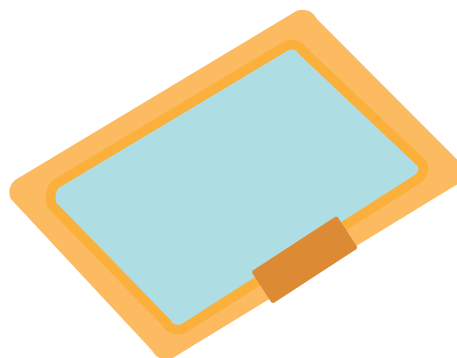
迷子札は必須です

室内飼いでも、脱走する事もあります
そんな時、飼い主さんの手がかりがあると
保護してもらえたときに、すぐに連絡をもらえます

トイレ

ペットシートとトレイを用意しましょう

トイレのさせ方には、お外だけ、お家のなかだけ、
と、飼い主さんによってはの考え方があると思いますが、
お外でもお家の中でも出来るようにすると
その時々に対応させることが出来、とても便利です♪
もちろん、成犬になってからでも、覚えてくれます。



フード と フードボール

預かりさん宅で食べているものを聞き、同じものを用意しましょう。

後に変えようと思っている場合は、
徐々に切り替えるようにしましょう。
急に違うご飯を食べると、
お腹を壊すことがあります。

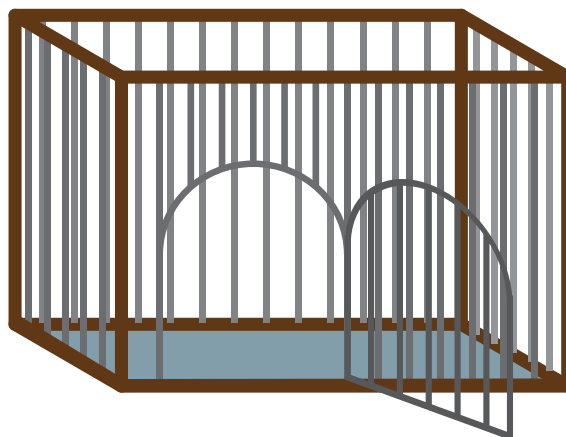


フードボール
ごはん用 と お水用



居場所

ケージ、クレート、ベッドなど
わんちゃんが安心できる専用の場所を用意しましょう



その3. 新入りわんちゃんを迎える

お迎えのとき

お迎えに行く場合は、カラーとリードの他に、
キャリーバッグやクレートなども持って行きましょう。

その時に、今までそのわんちゃんが使っていたタオルや毛布、
おもちゃなど、その子のおいが付いているものも一緒にもらってくると、
新しい環境に来た時でも、わんちゃんは安心してくれます。

お家に着いたら・・・

お家に着いたら、もらってきたタオルやおもちゃなどと一緒に
新入りわんちゃんをケージに入れましょう。

落ち着くまで、そっとしておいてあげましょう。

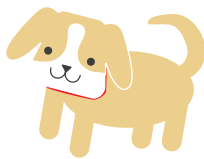


先住わんちゃん
(成犬)

が 居るお家は、下のステップにすみましよう。
先住わんちゃんが居ない場合は、つぎのその4 にすみましよう。

ケージ越しの対面

新入りわんちゃんが落ち着いたら、先住わんちゃんを自由にして、
自らあいさつしていくまで、見守り、自然に対面させましよう。



いきなりの直接対面は避け、ケージ越しの対面としましよう。



お互いを認識したら...

直接対面は、飼い主さん立会いのもと行います。
新入りわんちゃんを係留し、先住わんちゃんからにおいをかがせます。
先輩わんちゃんからにおいを嗅ぐのが、わんちゃん社会のルールです。



その4. 社会性を身につける

社会性とは

わんちゃんは、毎日のお散歩をはじめ、
飼い主さんと一緒にでかけることがとても多いです。
出先では、多くの人や他の動物と出会います。
そんなときにも、飼い主さんのコマンド(命令)を良く聞き、
落ち着いて行動できるようにしておく、
一緒に出かけられる範囲が広がり、
楽しい時間をたくさん過ごせるようになります。
ぜひ、社会性をつけておくことをおすすめします。

- 呼び戻しができる
- 待て、おすわり、ふせ等のコマンドを聞き、飼い主さんがわんちゃんの行動を管理できる
- クレートやキャリーバッグに入り、落ち着いていることができる
- トイレをしていい場所といけない場所を指示し、それに従うことができる(トイレシートの上でのみする・お外でも、人の迷惑にならない場所でのみすることができる)

など

根気よく、性格にあったやりかたで

そのわんちゃんの性格・個性を理解して接してあげましょう。

基本的な
ポイント

しからない・ぶたない・ほめて覚えさせる

具体例として、

わがままを聞かない・・・欲求吠えをしたら、しらんぷりする
威嚇に動じない・・・怖がらない、怒らない
良いことをしたとき・・・思いっきり褒めてあげる

一番覚えておいていただきたいことは、
「しつけ」そのものが、人間側の価値観に基づく行為だということです。

「しつけ」は、人間社会の中で、わんちゃんと楽しく暮らすために、
わんちゃんにちょっと無理をしてもらうことでもあります。

ですから、強制的になりすぎないことも大切です。

これをいつも心にとどめ、飼い主さんがリーダーシップを発揮し、
根気よくしつけて行ってください。

最後に・・・

ここで紹介させて頂いた方法は、一般的な例に基づいてまとめたものです。

一概に「犬」といっても犬種による体格や性格が様々です。

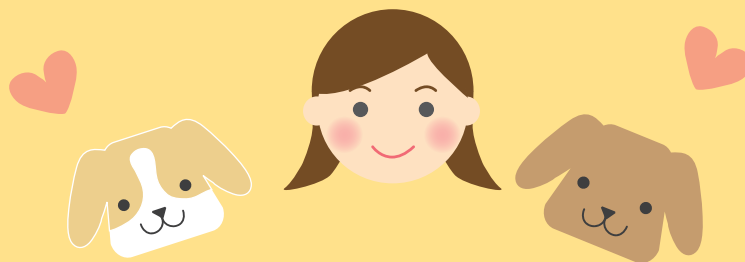
事前によく理解し、自分のライフスタイルに合うかどうか考え、
一度家族を失ったわんちゃんに、再び、同じ、悲しい思いをさせる事が無いようにしてください。

また、同じ犬種でも、今までに経験してきた事による習性の違いもあり、もしかしたら、心に傷を抱えているかも知れません。

わんちゃんは、家族と一緒に過ごす時間が大好きです。

特に、心の傷が癒えるまでは、できるだけ一緒にいてあげてください。共に過ごす時間がたくさんあれば、早く仲良くなれますよ。

一番大切なポイントは、あせらず、かまえず、た〜くさんほめて、一緒に生活を楽しみましょう♪



飼い主さんとわんちゃんが、ずーっと一緒に、楽しく、幸せに暮らせますようにと心からお祈りしています。

#pet_SOS 制作者一同